

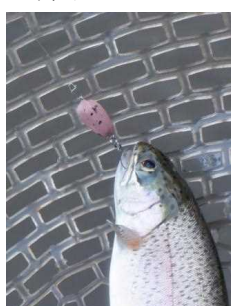
【ヒットルアー】

・モカSR(SS)ミドピーノ	3尾	・プチモカDR(F) S.M6	3尾
・モカSR(SS)オラオラオレンジ	4尾	・プチモカSR(FⅡ) 黄オレンジ	1尾
・モカSR(SS)黒ザリガニ	3尾	・ちびパニクラDR-SSショボクレおこし(グロー)	2尾
・モカSR(SS)桃	1尾	・しずく 白	1尾
・モカDR(SS)ミドピーノ	3尾	・イーグルプレーヤー40slimGJオレダクシオン	2尾
・モカDR(SS)薄茶	1尾	・ジギルjr 0.7g 蛍光オレンジ	1尾
・プチモカSR(SS)ミッカビミカン	10尾	・マメしずくBB 桃	1尾 ホトム
・プチモカSR(SS)薄茶	1尾	・マメしずくBBレジン 薄茶	6尾

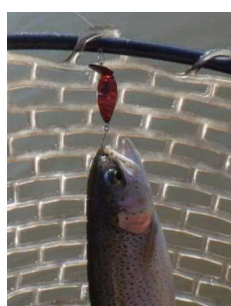
モカDR(SS)
ミドピーノ



マメしずくBBレジン
薄茶



モカSR(SS)
黒ザリガニ



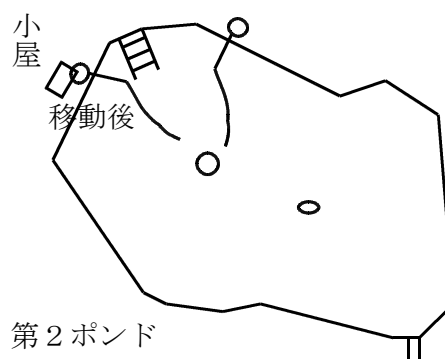
プチモカSR(SS)
ミッカビミカン



ちびパニクラDR-SS
ショボクレおこし



<移動後>



【様子】

- 料金 半日午後 男性 ¥4,000
- 放流なし。餌撒きなし。終了時刻は午後5時00分。
- 晴れ、風は少しあった。さざ波がたったり水面が鏡になったりした。水は濁っている。客は少なめ。

12時15分～午後1時00分 4尾

- 日当たりの良いところ(ポンド北側)が空いていたのでそこに入った。
- いつものようにモカSR(SS)ミドピーノからスタートした。

○モカSR(SS)ミドピィーノで3尾ほど、ネットイン直前にばらした。これを数えるとヒットは6尾だ。

・モカSR(SS) ミドピィーノ 3尾 / ・モカSR(SS) 桃 1尾

午後1時00分～午後2時00分 6尾

○当たってくるが掛からない。いろいろ試す。

○マジックジャークで2尾取ったが続かなかった。

○モカSR(SS) 黒ザリガニで連続ヒット。

・イーグルプレーヤー40slimGJ オレダクション 2尾

・モカSR(SS) 黒ザリガニ 3尾 / ・しずくSS 白 1尾

午後2時00分～午後3時00分 5尾

○モカDR(SS)ミドピィーノで連続ヒット

○モカDR(SS) 薄茶で1尾取ったあと、2時15分から40分間釣れなかつた。

・モカDR(SS) ミドピィーノ 3尾 / ・モカDR(SS) 薄茶 1尾

・ちびパニクラDR-SS ショボクレおこし(グロー) 1尾

午後3時00分～午後4時00分 4尾

○表層にマスの姿がない。釣れない。いろいろ試した。

・マメしずくBB 桃 1尾 ボトム / ・ちびパニクラDR-SS ショボクレおこし(グロー) 1尾

・モカSR(SS) オラオラオレンジ 2尾

午後4時00分～午後5時00分 24尾

○トイレ前でマスが表層に出てきた。トイレ前が空いていたので移動した。

○表層でマスが動いているときの釣り方を確立しようと考えた。

○プチモカSR(F II) 黄・オレンジ 1尾、ジギルjr 0.7g 蛍光オレンジ 1尾、モカSR(SS)オラオラオレンジ 2尾、ぱっとしない。

○表層での動きが更に活発になってきた。餌撒きの釣り方を試した。連続ヒットとなった。やがて釣れなくなつた。

・マメしずくBBレジン 薄茶 6尾

○釣れなくなつた。表層でマスが動いているときの釣り方、連続ヒットをさせるために試した。

プチモカSR(SS) 薄茶 1尾、プチモカDR(F) S.M6 3尾 ぱっとしない。

○プチモカSR(SS)ミッカビミカンを試した。「ゆっくり」でリールを1周巻くという巻きスピード。入れ掛かりとなつた。これだ！ まだ釣れそうだったが、終了時刻となつた。

・プチモカSR(F II) 黄オレンジ 1尾 / ・ジギルjr 0.7g 蛍光オレンジ 1尾

・モカSR(SS) オラオラオレンジ 2尾 / ・マメしずくBBレジン 薄茶 6尾

・プチモカSR(SS) 薄茶 1尾 / ・プチモカDR(F) S.M6 3尾

・プチモカSR(SS) ミッカビミカン 10尾

【振り返り】

○表層にマスの姿があまりない。モカSR(SS)ミドピィーノからスタート。着水後すぐ、カウント5、カウント8を試した。カウント5で当たってくる。

○カウント5の深さをイメージして釣つた。

①モカDR(SS)を着水後すぐにゆっくりゆっくり巻く。これでカウント5の深さに来たときだろうか、しばらく巻いていると当たってくる。

②モカDR(SS)を着水後3回巻いて潜らせてから、竿を立ててゆっくりゆっくり巻く。

→ ①で釣れるときと、②で釣れるときがあった。

→ モカDR(SS)を使うとき、竿を立てて巻くときと、竿をラインと直線になるようにして巻くときでは、泳ぎが違おうようで、釣果に差が出る。

※当たりが遠のいたとき、サイズダウンと考え、ちびパニクラDR-SSを3回巻いてから、ゆっくりゆっくりと巻いて見たら、ヒット(&ゲット)した。

<宙層を攻めるとき>

「モカSR(SS)を沈めてから巻く」「モカDR(SS)を沈めてから、竿を立てて巻く」「モカDR(SS)を潜らせてから、竿を立てて巻く」「モカDR(SS)を潜らせてから、そのまま巻く」「モカDR(SS)を着水後そのまま巻く(釣れる泳層に来たときに当たりがある)」

→ 竿を立てるか否かで泳ぎが変わる。スプーンによる巻き下げ、巻き上げで釣るという方法からすれば、モカDR(SS)を着水後そのまま巻くというのも効果的かもしれない。実際、今日もこれで釣れた。

<午後4時以降、マスが表層で動き出した>

○マスが表層で動いているときの釣り方を確立したいと考えて試した。

プチモカSR(SS)ミッカビミカン、竿はラインとほぼ直線、巻きスピードは「ゆっくり」でリール1周。5回巻くまでに当たってきた。「ゆっくりゆっくり」でリール1周では釣れなかった。

モカSR(SS)よりプチモカSR(SS)の方が良いように思う。

午後4時以降(夕方)だから、ミッカビミカンが良かったのかもしれない。

夕方はオレンジ系でよく釣れるというイメージがある。

→ マスが表層で動いているときは、プチモカSR(SS)を使う。巻きスピードは「ゆっくり」で一周。

泳層が水面のどれくらい下かにより、F II やSR(SS)などを使い分ける。

【スプーンで釣る】

スタッフ安藤さんから教えていただいた。

○スプーンの泳層は1mにつき重さ1gと考える。水深2mなら2gを水深3mなら3gを使うことを目安とする。

○第2ポンド、第3ポンドで使うことを考えると、スプーンの泳層(リトリーブする棚)により、1g未満、1~1.2g、1.2g~1.5gを使い分ける。

○ラインはナイロンなら2.5ポンドを使う。フロロなら2ポンドを使う。1.2g以下のスプーンを使うなら1.5ポンドがよい。飛距離が出る。

○巻き上げとか、巻き下げとかなど情報量が多いが、まずは一定層をリトリーブできる巻きスピードをつかむことが先決である。

※ロッドポジションはラインと一直線になるようにして、やや左(または右)に振ることを基本にする。